

強靱な上下水道を目指して!



上下水道管の老朽化対策を進めています

北九州市が管理している水道管は約4,600km、下水道管は約4,700kmあります。その多くが高度経済成長期(昭和30年~50年頃)に整備されたもので、今後、急速に老朽化が進行するため、劣化した上下水道管の更新作業を計画的に進めています。また、熊本地震や能登半島地震など大規模地震災害では、上下水道施設が被災し、市民生活に大きな影響を与えました。大規模な地震が発生した際に被害を最小限に抑えられるよう、上下水道一体での施設の強靱化を進めていきます。

老朽管の更新と耐震化

水道管の更新と耐震化

老朽化した水道管は、更新の際に地震に強い耐震管を布設しています。また、AIを活用した劣化診断により、漏水確率が高いと判定された水道管や、漏水が発生したときに社会的影響が大きい水道管を対象として、更新とあわせて耐震化に取り組んでいます。



老朽化し穴の開いた水道管

耐震管に布設替え

下水道管の更新と耐震化

ドローン等の新技術を活用し、事故発生時のリスクが高い「直径2m以上の大口径管」や「浄化センターに直結する管」などの点検・調査を重点的に実施します。点検・調査結果に基づき、計画的な補修・更新や耐震化に取り組んでいきます。



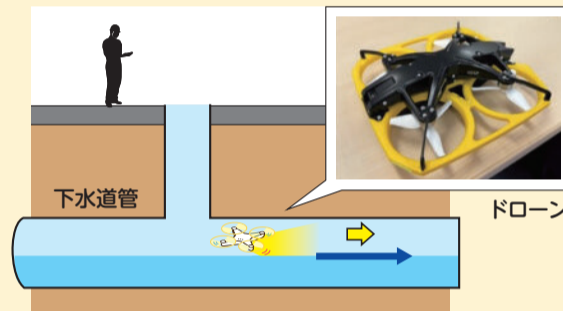
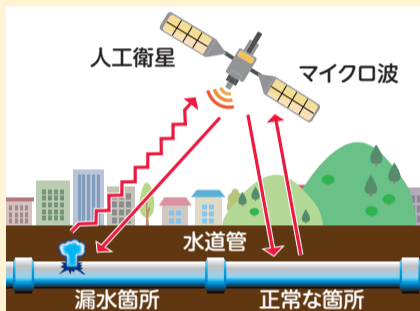
腐食により劣化した下水道管

既存の管の内側に新たな管を構築

TOPICS!

新技術による点検調査

人工衛星から照射されるマイクロ波による水道管の漏水箇所の特定やドローンによる下水道管の劣化状況の把握など、新技術を活用した点検調査の効率化を図ります。



施設の耐震化

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、浄水場や配水池、浄化センター等の耐震化を進めています。

小熊野配水池の耐震化



着工前



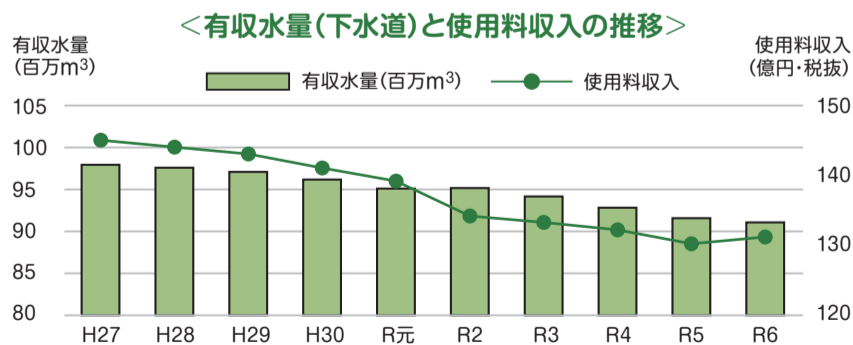
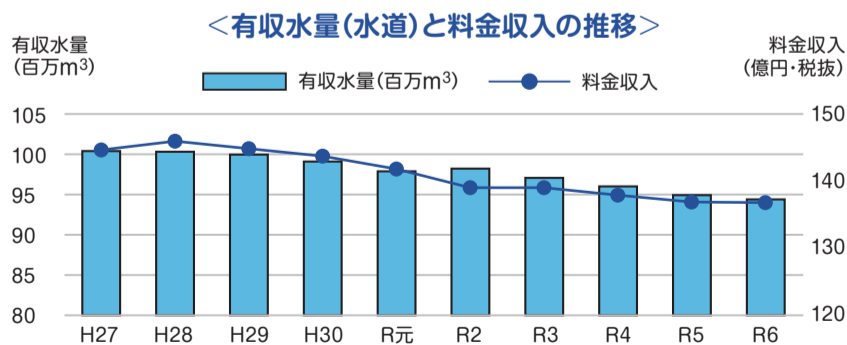
施工状況



完了(柱の補強)

上下水道事業の経営状況

上下水道局の収入の根幹である水道料金収入や下水道使用料収入は減少傾向であり、また、近年の物価高や労務単価の上昇などにより費用は増加傾向です。そのため、上下水道事業は大変厳しい経営環境に置かれています。そこで、上下水道局では経費削減・増収対策・サービス向上策の3つを柱とする経営改善策に取り組んでいます。



ぜひのぞいてみてね!

キッズサイト
キャラクター
ぶるん



北九州市 上下水道局
キッズサイト
～わたしたちの水道と下水道～

子どもから大人まで、楽しく上下水道のことを学べるウェブサイトです!

YouTubeで動画も配信中!

浄水場や浄化センターのバーチャル施設見学、上下水道のお仕事紹介、水道・下水道の実験や工事の様子などをわかりやすく紹介しています。

